

# にし阿波地域のおもてなし ～傾斜地の田舎暮らし体験～



A thousand years, a hidden hamlet



# にし阿波地域ってどんなところ？

## にし阿波とは

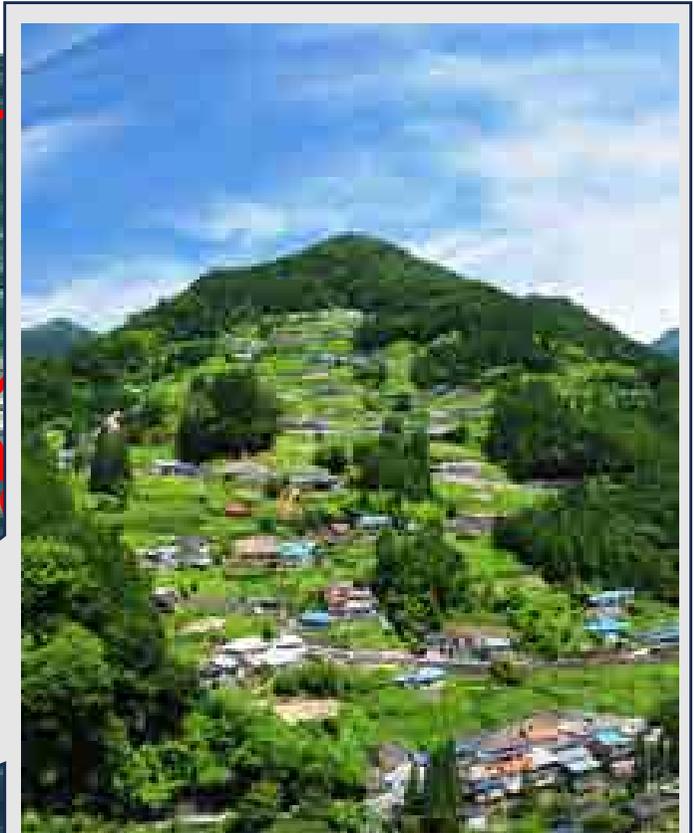
徳島県西部の2市2町（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）を指す。

人口：6.7万人  
（世田谷区：94万人）  
面積：1,406km<sup>2</sup>  
（世田谷区：58km<sup>2</sup>）

- 2008：観光圏認定（国土交通省）
- 2017：SAVOR JAPAN認定（農林水産省）
- 2018：世界農業遺産認定（FAO）**
- 2024：日本ジオパーク認定（日本ジオパーク委員会）



# 衛生写真で見ると・・・



落合集落：重要伝統的建造物群保存地区

山間集落が点在  
その数、約200集落

# 世界農業遺産 Globally Important Agricultural Heritage Systems



## にし阿波の傾斜地農耕システム

- 標高100～900mの山間地域に約200の集落が点在
- 急峻な山の中腹で、棚田などの水平面をつくらず傾斜地をそのまま活用
- 独自の技や知恵を培って、自然を守り、命を守り、集落を守ってきた
- 自然との共存で生まれた食文化、農文化、景観等
- 400年以上続く、持続可能な農業システム

# 自然と調和した適応技術：カヤの活用



【コエグロ】  
カヤを束にし、円すい状にして保管



土にすき込んで肥料に  
土の上に敷いてマルチに

## カヤの効果

※カヤとは、ススキやチガヤ等の植物の総称

- ・ 土壌流亡の抑制
- ・ 保温と保水
- ・ 雑草の抑制
- ・ 有機物の供給

# 自然と調和した適応技術：独自の農具文化



「野鍛冶」による農具の製作



流亡した土壌を回復する  
「ツチアゲ」作業

- 鋭く角度のついた農具  
→ 傾斜地耕作に適応

# 採草地を中心とした生物との共存

採草地（カヤ場）



ex. シコクフクジュソウ



ex. ハイタカ（狩場）

採草地への人為的介入  
→ 稀少動植物を保全

植物：342種、昆虫：241種、鳥類：28種

# コミュニティの中心にある農村文化



# 滋味あふれる独自の食文化

そば米雑炊

ソバの実を挽かずに  
使う独特の食べ方。  
徳島県の代表的な郷  
土料理。

雑穀餅

## 環境に適応した独特の食文化

干し物(ゼンマイ・大根・柿など)

自然の貯蔵庫：イモ穴

# 人々の営みが生み出した景観



「桃源郷」と称される集落



秋冬の風物詩：コエグロ



傾斜地一面のソバ畑

# 一般社団法人そらの郷

## DMO：観光地域づくり法人

**D**estination

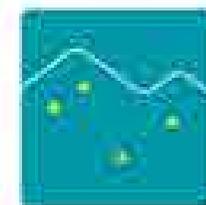
**M**anagement/**M**arketing

**O**rganization

地域の稼ぐ力を引き出す、観光における地域の舵取り役

## 経緯

- 2007：そらの郷山里物語協議会設立
- 2008：観光圏認定
- 2011：一般社団法人そらの郷設立
- 2017：日本版DMO登録
- 2019：組織体制の強化（2事業部）
- 2020：重点支援DMO選定



にし阿波  
剣山・吉野川観光圏

# 「住んでよし・訪れてよし」の観光地域づくり

にし阿波～剣山・吉野川観光圏の地域ブランディングと経済再生



## 住んでよし・訪れてよし

「住んでよし」は町づくり、地域資源の価値向上、地域の自信・誇りの再生⇒**住民満足度向上**

「訪れてよし」は観光振興、交流人口拡大、域内消費額の拡大⇒**所得・雇用・税収の確保**

## 千年のかくれんぼ

～分け入るごとに、時は遡り～

そびえ立つ山々が悠久の時を閉じこめたのか。  
変わらぬ営みと人のぬくもりが息づく、  
“にし阿波” 無垢の里

## 官民連携の地域づくり

徳島県、2市2町、大歩危祖谷いってみる会、観光協会、商工会、観光地域づくりマネージャーなどが連携して観光地域づくりに取り組んでいる。

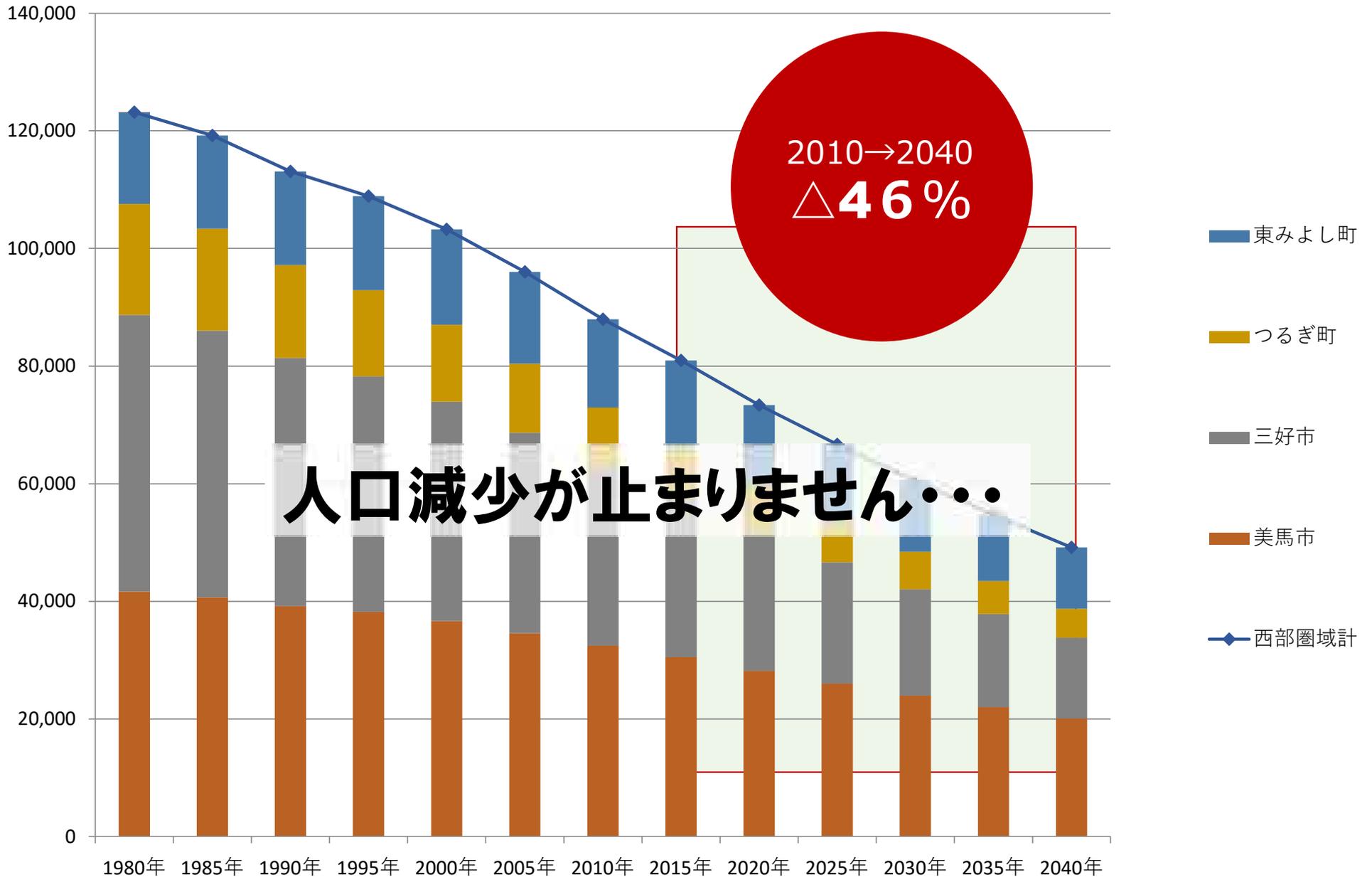


四国・大歩危・祖谷



# 課題：人口減少問題

にし阿波の人口推移（1980年～2015年） → 将来推計人口（2010年～2040年）



(2010～2040年) データについては、国立社会保障・人口問題研究所の『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』を使用  
(1980～2010年) 年齢階級別人口の数字は、国勢調査のデータを市町村合併を考慮して独自に集計したものです。境界変更については考慮していません

# 地域支援型産業としての観光

～“交流”をコンテンツとした価値の創造～



関係人口拡大で持続可能な観光地域づくり

# 活用する地域資源

## ■傾斜地集落



## ■世界農業遺産／農業文化



## ■地域住民



# 資源循環型の暮らしへの共感

山の集落で住民と出逢い、ライフスタイルに共感する。



# レジャーではなく**交流**がコンテンツ

暮らしの体験と、地域住民との**交流**が価値を作り出す。



# 取組事例①：インバウンドツアーの受入れ



欧米はじめ、全世界からのお客様

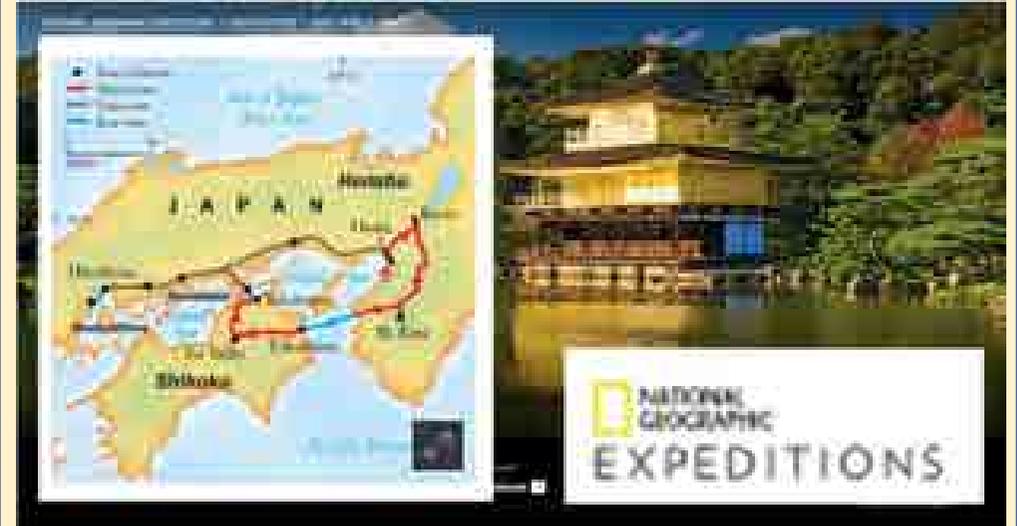


# インバウンドツアーの受入状況

## ASIA JAPON INTIMISTE Voyage2024 JAPON INTIMISTE KANAZAWA Voyage2024



## National Geographic Expeditions INSIDE JAPAN Tours2024



### 2024計画

ASIA JAPON INTIMISTE 2024  
JAPON INTIMISTE KANAZAWA 2024

15国300名  
10国200名



### 2024計画

NATIONAL GEOGRAPHIC EXPEDITION  
INSIDE JAPAN Tours2024

9国225名

にし阿波で訪日ツアー客が体験すること  
“農家の庭先”で山の暮らしを体感



# “農家の庭先”でティータイム (祖谷番茶のロースト体験)



# “農家レストラン”で民謡を楽しむ ( 祖谷の粉引き唄 )



これを求めていた、と彼らは言う・・・



# 「にし阿波」外国人宿泊者数推移

- **2019年は31,828人**（2007年比 約33倍！）
- 2024年は、過去最高の2019年に迫る勢いを見せる。



# 取組事例③：体験型教育旅行（修学旅行）



年間受入7,000人を超える地域産業に



# ほんもの田舎体験

## ■農作業体験



## ■共同調理体験



# オプションプログラム：世界農業遺産学習

座学



農業文化体験



ツチアゲ体験



# そのの郷山里物語 教育旅行事業

2024.3.31現在

教育旅行 民泊(泊数)

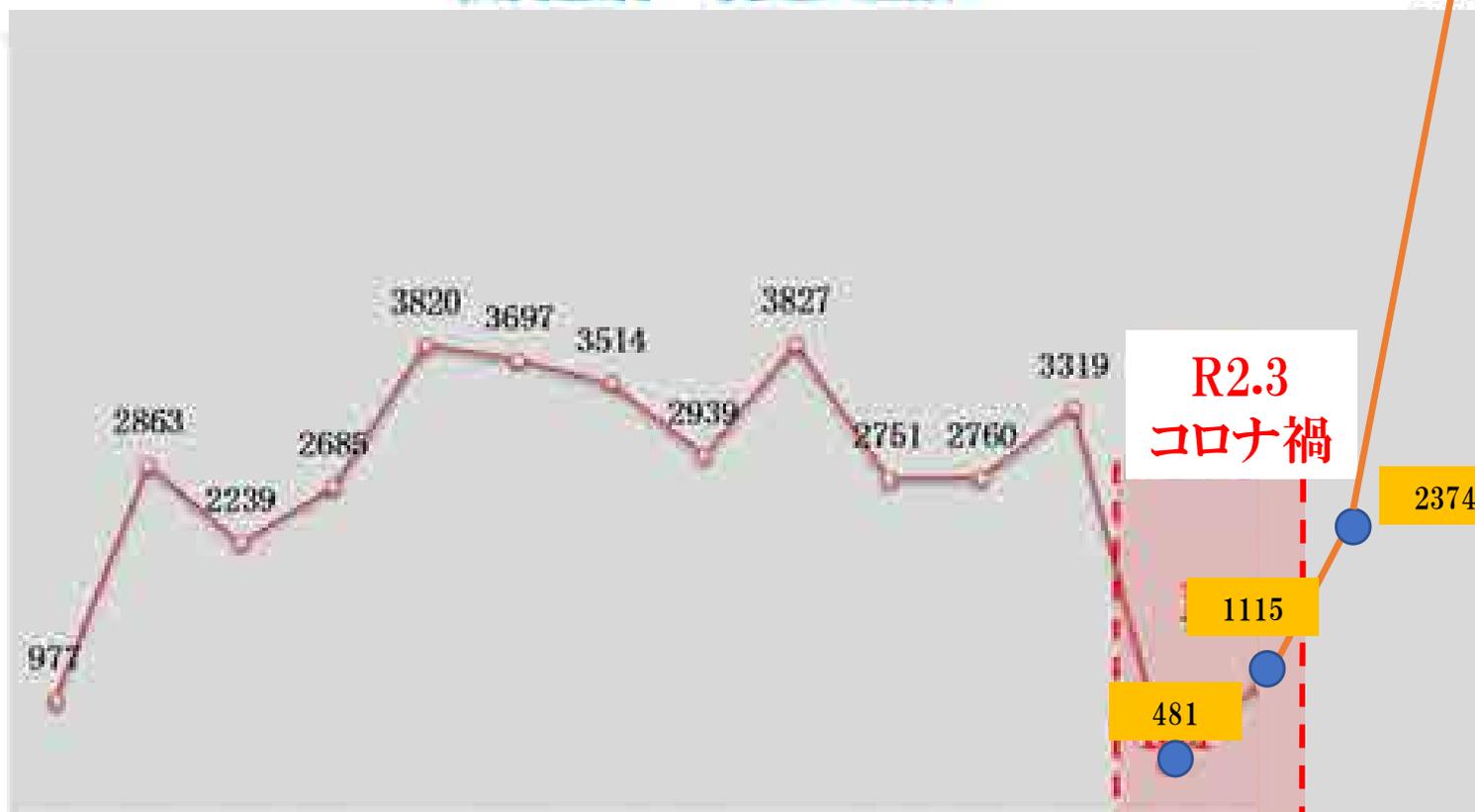
5,000

4,000

3,000

2,000

0



7215

2374

R2.3  
コロナ禍

1115

481

	2008/	2009/	2010/	2011/	2012/	2013/	2014/	2015/	2016/	2017/	2018/	2019/	2020/	2021/	2022/	2023/
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
学校数	4	12	12	21	27	25	27	25	27	26	21	25	5	13	25	39
受入泊数	977	2863	2239	2685	3820	3697	3514	2939	3827	2751	2760	3319	481	1115	2374	7215

学校数 受入泊数

# 取組事例③：体験コンテンツ造成・販売



日本語

1. QRコードを読み込んで予約画面へ！

Scan QR code to access reservations

2. お好みの体験を選択！

Choose your activity

3. かんたん予約＆決済！

Easy reservation and payment



English



11月 4日 | 10:00 - 11:00

【世界農業遺産体験/徳島・つるぎ町】～絶景の中で味わう手作りま  
んじゅうと山の暮らし～



11月 4日 | 10:00 - 11:00

【3～4月開催】山形県にし体験予約体験＆富士料理ランチイベント  
ふ体験【三好市加谷】



2025/03/11 10:00 |   

【春限定】《宿泊プラン》春の恵み山菜祝儀体験付きミズナコースLargo【三好市他田】



2025/03/11 10:00 |   

《宿泊プラン》民宿うり坊で味わう山の恵みミズナフルコース【祖みよし町】



2025/03/11 10:00 |     

にし阿高機土料理「そば米粥状」作り体験【お土産付き】



2025/03/11 10:00 |     

自分だけのオリジナルみまから一皿作り体験【お土産付き】

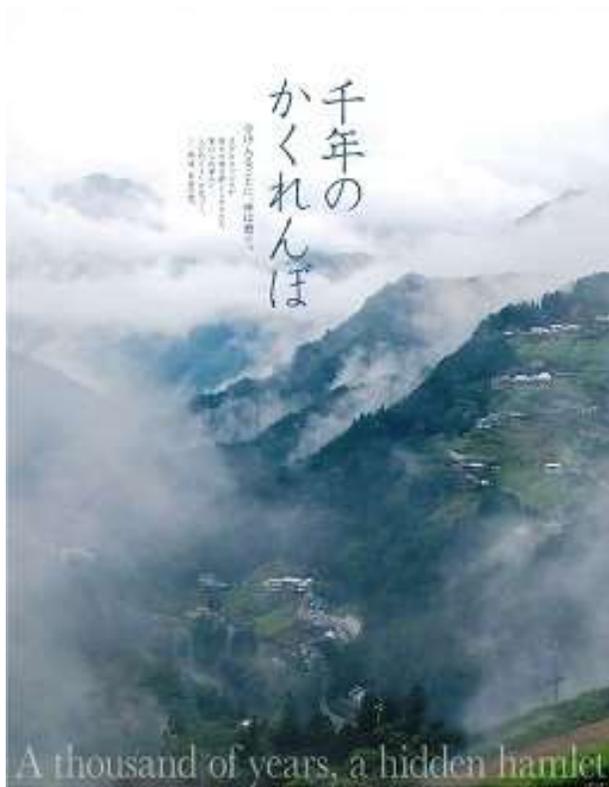


# 今後の展望

- ・ 2025年 大阪・関西万博
- ・ 2027年 マンダリンオリエンタル瀬戸内開業
- ・ 2027年 ワールドマスターズゲーム関西開催

にし阿波の魅力が一層広まり、インバウンドをはじめ多くの観光客で賑わうように

- ①情報発信／プロモーション
- ②受入環境整備
- ③資源を活かしたコンテンツ造成、景観の整備
- ④人材育成





ご静聴ありがとうございました。

